

東京都杉並区立西田小学校

発表者 鈴木朝代
佐々木哲弥

学校紹介

児童数647名 教員数31名

教育目標 気付き・考え・行動する子

立地 杉並区のほぼ中央部に位置し、閑静な住宅街の中にある。都心からも近いが、周囲には善福寺川沿いの緑地や旧家の屋敷林なども多く、自然豊かな地域である。

杉並区唯一の公立小学校のユネスコスクールであり、児童は向学心に富み、ユネスコスクールであることを誇りに思っている。

ユネスコスクール活動としては生活科・総合的な学習の時間を中心に発達段階に応じたカリキュラムを編成し、地域の人材や施設などを活用し、持続可能な人材の育成に努めている。

ガイドについて

- 校内研修において、ハッピースクールプロジェクトの概要、本校のハッピープロジェクトの方向性、今年度の取組みの方針を説明した。
- 本校が推進しているESDの方向の中で、児童の主体性に方向性を向けた取り組みと理解されている。

【改善点】

- 総量が多いため、抵抗感がある。また、個別のワークショップは教科との連携が取りにくく、時間の確保が難しい。教科・領域との関連をとりやすいものになるとさらに良い。

ガイドについて

【活用例】

- その内容を共有し実践するため、教員へ配布した。

【コメント】

- ボリュームがあり、内容は少々難しいように感じた。

【改善点】

- 内容が概念的であるため、理解に時間がかかるようであった。要約されたパンフレット状のものとよりよい。

課題

【人 (People)】

- 人に関する課題

教師のスキルの向上による、より豊かな学びの実現

【過程(Process)】

- 過程に関する課題

児童がいつも真ん中にある学校づくり

【場所(Place)】

- 場所に関する課題

- 児童主体の民主的な学校運営（子供に任せる！）

Happy Schools デザインシート

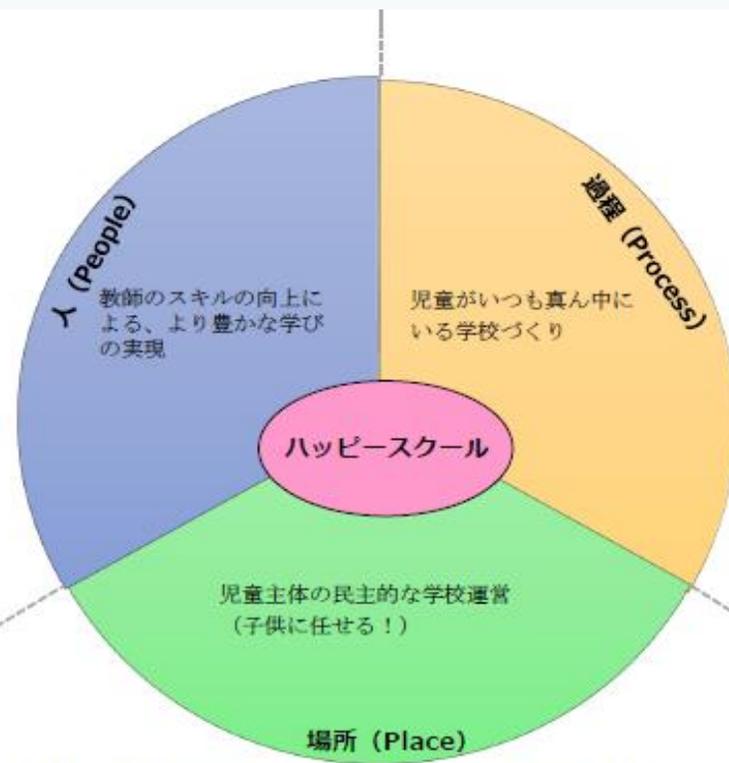
活動：授業づくり・授業研究の日常化

期間：1年間毎日

担当者：全教員

リソース：研究授業講師、学習指導要領、教科書 等

モニタリング等：学力調査、アンケート



活動：

①特別活動、特に委員会・クラブ活動による自主的な活動

②子どもたちによる、生活のきまりや今週の目標づくり

期間：①②1年間

担当者：①②全職員（①各委員会クラブ担当、②生活指導担当）

リソース：①地域人材、②道徳の教科書

モニタリング等：①活動報告書、②「せいかつのきまり」

活動：代表委員会が児童の声を集め、生活改善を呼びかける

期間：1年間

担当者：代表委員会担当、全教員

リソース：地域人材

モニタリング等：活動報告書等

活動（人：People）

活動名：授業づくり・授業研究の日常化

期間：1年間

活動内容：研究授業、授業観察を通して教員の授業力の向上を図る

活動による変化：本時の目標の達成と、つきたい資質能力について明確にすることを各教員ができるようになってきた。

直面した課題：準備、実施後の検討に対する時間の確保

活動（過程：Process）

活動名：委員会・クラブ活動における自主的な活動

期間：1年間

活動内容：各委員会、クラブ活動において児童に目標の設定、活動の方法について考えさせ、教師主導の活動から児童主体の活動になるよう取り組んだ。

活動による変化：環境委員会等では各自が活動内容を考えた。（オイスカ子供の森プロジェクトへの参加、小さいチョークプロジェクト、ミミズコンポストによる栽培活動 等）また、2月の未来の学校（地域への発信事業）に積極的に参加する児童も出た。

直面した課題：児童・教員への共通理解への働きかけ方、活動による取り組みやすさの違い。

活動（過程：Process）

活動名：子供たちによる生活のきまりや今週の目標づくり（5年生）

期間：2学期～

活動内容：5年生で移動教室や連合音楽会などの学習活動の目標やきまりづくり、週の目標づくりに取り組んだ。

活動による変化：自分たちで決めた目標やきまりを達成しようとし、互いに声を掛け合う姿が見られた。また、達成したときの自己肯定感が向上している様子が見られた。また、教員の指導に柔軟性がついた。

直面した課題：校内への広がり。時間的制約による目標設定に対する教員の過干渉。

活動（場所：Place）

活動名：代表委員会児童が児童の声を集め生活の改善に取り組む。

期間：2学期～

活動内容：代表委員会児童が意見箱を設置し、全校児童から学校生活等に関する意見を集め、その改善に児童主体で取り組む。

活動による変化：代表委員児童は「自分たちで学校を変えていける」という意識をもつことができた。

直面した課題：児童の活動時間の確保。全校生徒への意図の周知不足。